

# 留学体験レポート

国際学部 2年 鈴木陽葵

## 1. はじめに

挑戦、成長を目標に掲げ、私は初めて海外で生活をしました。ここでは、約4か月間の中で私が体験したことについて述べていきます。

## 2. アメリカでの生活

生活の基盤である衣食住ですが、どれも日本とは異なる文化を有しているため、その違いに順応することが大切です。衣類に関しては、夏は屋外と屋内の気温差が激しく、冬は屋外の気温が急激に低下するため、夏には半そでの服と何か羽織るものを携帯し、冬にはしっかりと寒さをしのぐことのできる服装を推奨します。食事は寮付近又は併設されているダイニングホールにて食事をとることができます。毎日ほとんど同じメニューであるため、飽きてしまうかもしれません。しかし、それをきっかけに、散歩がてら飲食店を探して入ってみたり、無料バスで行けるスーパーで買い物をしてみたりすることで気分転換もでき、行動力も付くと思います。住居は寮生活で、新潟国際情報大学の生徒と二人一部屋で生活しました。バスルームを挟んだ先の隣の部屋に住んでいる人ともバスルームを共有する共同生活なので、思いやりとモラルをもって生活するべきだと感じました。

## 3. 授業や課外活動について

授業開始日の前に行われた学力テストによりクラスを割り振られ、三つのクラスに分かれて授業に取り組みました。序盤は緊張もあってか先生の指示できえ聞きとれず、クラスメイトに助けをもらいながら取り組んでいました。しかし徐々に自分で理解して自分の力で取り組むことができるようになりました。

課外活動に関しては、大学の先生方が様々なところに連れて行ってくださったおかげで今まで体験できなかった多くのことを経験することができました。

## 4. 授業外や休日について

授業外や休日は、主に休息、課題、運動に時間を当てました。寮内にいるほかは、学生が利用できるジムでトレーニングやボルダリングをしたり、学校の敷地内にあるグラウンドで様々な国の人と一緒にサッカーをしたりしました。そういった授業外での人との関わりを増やすことも外国で生活していくうえで大切であると思います。

## 5. おわりに

初めて日本を離れ、見たことのない世界の中で生活することで、今まで持っていたステレオタイプがよい意味で打ち砕かれ、物事を柔軟に考えられるようになったと思います。約4か月間の素晴らしい経験をさせてくれた母や親族一同、大学の皆さんに感謝をし、これからの人生に留学で培った経験を生かしていきたいと思っています。